

---

# Webアクセシビリティ指数 大学Web実態調査 2026

日本の主要大学25校のWebアクセシビリティ取り組み状況

---

本資料は公開情報に基づく試行的な観察結果です（詳細は調査概要へ）

# はじめに

大学Webは、受験生、在学生、保護者、教職員など、多様な利用者にとって重要な情報基盤です。大学においても、誰もが必要な情報に支障なく到達できることが求められます。

本資料は、株式会社インフォ・クリエイツがこれまで企業向けに行ってきた「Webアクセシビリティ指数・プログレスレポート」の考え方を踏まえ、大学Webの実態を把握するために試行的に実施した初版調査です。企業版と同様に、技術基準への適合だけでなく、方針、実行、評価、報告、宣言といった、組織として外部から確認できる取り組みに着目しています。

対象大学は、既存の検討対象、比較のしやすさ、全国的な認知度等を踏まえて25校を選定しました。ただし、本調査は大学全体を統計的に代表することを目的としたものではなく、現状を概観し、今後の継続的な調査設計につなげるための基礎的な把握を意図したものです。

今回の結果は、大学Webにおけるアクセシビリティの現状を可視化し、改善に向けた出発点を示すものです。今後は、対象大学や比較方法の拡張を通じて、より実態に即した把握へと発展させていくことが期待されます。

# 調査概要

## 調査対象

主要大学および比較対象として選定した大学 25校

※ 本調査は、大学Webアクセシビリティの現状を概観するために試行的に実施した初版調査です。対象大学は、既存の検討対象、比較のしやすさ、全国的な認知度等を踏まえて選定しています。

## 評価観点

付録A-2『調査項目とランク』に記載

※ 公開情報から確認できる範囲で、Webアクセシビリティへの取り組み状況を観察・整理しています。評価観点は、方針・実行・評価・報告・宣言・懸念です。

## 調査期間

2026年4月1日～2026年4月16日

- ※ 本レポートは当社の観点に基づき、公開情報から観察できる範囲で整理したものです。
- ※ 本調査は大学全体を統計的に代表することを目的としたものではなく、今後の継続的な調査設計に向けた基礎的な把握を意図したものです。
- ※ ランキングは大学の実情を完全に反映するものではなく、大学の承認を得たものではありません。
- ※ 本レポートの利用により生じたいかなる損害についても、当社は責任を負いません。

# 対象大学

調査では、主要大学を中心に選定した25大学を対象としました。  
初版調査として、既存の検討対象、全国的な認知度等を踏まえて選定しています。  
掲載順は、2026年度調査の総合順位に基づいています。

## 対象大学

- 東京工芸大学
- 川崎市立看護大学
- 慶應義塾大学
- 名古屋市立大学
- 東京大学
- 東京科学大学
- 信州大学
- 多摩美術大学
- 京都大学
- 九州大学
- 名古屋大学
- 東北大学
- デジタルハリウッド大学
- 大阪大学
- 北海道科学大学
- 立命館大学
- 北海道大学
- 神戸大学
- 青山学院大学
- 北海学園大学
- 東京工科大学
- 武蔵野美術大学
- 早稲田大学
- 筑波大学
- 東京造形大学

## 注記

※ 掲載順は、2026年度調査の総合順位に基づいています。

※ 本調査は試行的な初版調査であり、対象大学の追加や選定方法の見直しは今後の検討課題です。

# 全体結果の概要

25大学を対象に調査した結果、最高点は49.6点で、A帯・B帯に該当する大学はありませんでした。平均は24.2点、中央値は20.0点であり、大学Webアクセシビリティの取り組みは全体としてまだ十分とは言えない状況が見られました。

## 主な数値

最高点：49.6点  
平均点：24.2点  
中央値：20.0点  
最低点：0.6点

## ランク分布

A：0校  
B：0校  
C：13校  
D：10校  
E：2校

## スコア上位 10校

1. 東京工芸大学	6. 東京科学大学
2. 川崎市立看護大学	7. 信州大学
3. 慶應義塾大学	8. 多摩美術大学
4. 名古屋市立大学	9. 京都大学
5. 東京大学	10. 九州大学

## 概況

- 上位校でも50点未満にとどまりました。
- Aランク・Bランクに該当する大学はありませんでした。
- 分布はC～Eランクに集中し、全体として低い水準でした。
- 大学Webアクセシビリティの取り組みは、まだ初期段階にある大学が多いと考えられます。

## 評価項目別の傾向

25大学の結果を項目別に見ると、「評価」は一定の点数が見られた一方で、「実行」「報告」「宣言」は低水準にとどまりました。特に「宣言」は全大学で得点がなく、「実行」もごく一部に限られました。大学Webアクセシビリティの取り組みは、ページ品質の観点では一定の評価があるものの、組織的な取り組みの公開や継続的な発信にはほとんど結び付いていない状況がうかがえます。

### 項目別平均点（満点）

方針： 5.2 / 20

実行： 0.6 / 10

評価： 17.5 / 40

報告： 1.8 / 20

宣言： 0.0 / 10

### 概況

- 評価 は全大学で一定の点数が見られました。
- 方針 は一部の大学で確認できた一方、多くの大学では得点が伸びませんでした。
- 実行 はごく少数の大学に限られました。
- 報告 は一部に見られるものの、全体としては低水準でした。
- 宣言 は全大学で確認できませんでした。

※ 25大学の平均値。小数第2位を四捨五入。

# 今回の調査から見たこと

今回の調査では、大学Webアクセシビリティの取り組みが、一部の大学だけの課題ではなく、大学全体に広がる傾向として存在していることがうかがえました。

上位校でも50点未満にとどまり、分布はC～Eに集中しており、全体として取り組みはまだ十分とは言えない状況です。

また、課題はページ単体の品質だけでなく、方針、実行、報告、宣言といった組織的な取り組みの可視化にも及んでいません。

大学Webアクセシビリティは、受験生、在学生、保護者、教職員など、多様な利用者への情報提供に関わる課題であり、大学としての情報提供のあり方そのものが問われていると考えられます。

本調査は試行的な初版の調査ですが、大学Webアクセシビリティの現状を把握するための出発点として、一定の意味を持つものとなりました。

今後は、対象大学や比較方法の拡張を通じて、より実態に即した把握へとつなげていくことが期待されます。

## 付録 A レポートの前提と調査概要

この付録では、レポートの前提と調査概要を示します。

- 付録 A-1 Webアクセシビリティ指数・プログレスレポートとは
- 付録 A-2 調査項目とランク
- 付録 A-3 上位10大学の項目別結果

# 付録 A-1 Webアクセシビリティ指数・プログレスレポートとは

インターネットは、情報収集からコミュニケーションまで生活に欠かせない基盤です。誰もが支障なく利用できるようにするため、Webアクセシビリティの向上が求められています。

本プログレスレポートは、当該組織のWebアクセシビリティの取り組み状況を「Webアクセシビリティ指数」により評価し、A～Eで段階を示すものです。技術基準への適合状況だけでなく、組織としての取り組み（方針・実行・評価・報告・宣言等）が外部から確認できるかも対象とします。

## 本レポートで分かること

- 自組織の取り組みが、どの段階 A～E に位置するか
- どの評価項目が進んでいて、どこが不足しているか
- 次に優先すべき改善の方向性（見える化・体制化など）

## 活用方法

- 業界内の位置づけを把握し、改善計画の材料にします
- 公開情報の整備（方針、検査結果、報告等）の検討に使えます

## 付録 A-2 調査項目とランク

Webアクセシビリティ指数は、企業・公共団体・大学の取り組み状況を公開情報から確認し、総合的に評価する指標です。6つの調査項目に基づき、取り組み段階をA～Eのランクで示します。

### 調査項目

- 1. 方針** : 組織がWebアクセシビリティ方針を公式に公開し、内外に明確なコミットメントを示しているか
- 2. 実行** : Webアクセシビリティに取り組んでいる証しとして、検査結果を公開しているか
- 3. 評価** : 検査するだけでなく問題があれば改善することで、着実にアクセシブルなサイトを実現しているか
- 4. 報告** : アクセシビリティの取り組みをESG、SDGs、CSR、IR情報の中で定期的に報告しているか
- 5. 宣言** : 組織の最高責任者がアクセシビリティ向上の重要性を理解し、公に宣言しているか
- 6. 懸念** : アクセシビリティに関連する問題の発生がないか、また発生した場合の適切な対応がされているか

### ランクの説明

- A ランク** : 最も成熟（組織全体で実践が徹底し、改善が継続）
- B ランク** : 成熟（高い水準で実践、一部に改善余地）
- C ランク** : 中位（取り組みはあるが、組織全体の実践が不足）
- D ランク** : 初期（基本的な取り組みが不足、改善が必要）
- E ランク** : 未整備（取り組みがほとんど見られない）

この指数により、現状と優先課題を把握し、改善計画に活用できます。

# 付録 A-3 上位10大学の項目別結果と全体スコア

順位	大学名	ランク	スコア	方針	実行	評価	報告	宣言	懸念
			100	20	10	40	20	10	-10
1	東京工芸大学	C	49.6	15	10	19.6	5	0	0
2	川崎市立看護大学	C	45.2	10	0	37.2	0	0	-2
3	慶應義塾大学	C	43.0	18	0	20.0	5	0	0
4	名古屋市立大学	C	42.9	18	0	19.9	5	0	0
5	東京大学	C	42.9	18	0	19.9	5	0	0
6	東京科学大学	C	36.9	18	0	13.9	5	0	0
7	信州大学	C	35.7	13	5	19.7	0	0	-2
8	多摩美術大学	C	32.8	13	0	19.8	0	0	0
9	京都大学	C	24.9	0	0	19.9	5	0	0
10	九州大学	C	22.6	0	0	19.6	5	0	-2
11	非公開	C	22.2	0	0	19.2	5	0	-2
12	非公開	C	20.6	0	0	15.6	5	0	0
13	非公開	C	20.0	0	0	20.0	0	0	0
14	非公開	D	19.9	0	0	19.9	0	0	0
15	非公開	D	19.9	5	0	16.9	0	0	-2
16	非公開	D	19.5	3	0	18.5	0	0	-2
17	非公開	D	18.2	0	0	20.2	0	0	-2
18	非公開	D	17.7	0	0	19.7	0	0	-2
19	非公開	D	16.0	0	0	16.0	0	0	0
20	非公開	D	16.0	0	0	18.0	0	0	-2

順位	大学名	ランク	スコア	方針	実行	評価	報告	宣言	懸念
			100	20	10	40	20	10	-10
21	非公開	D	15.7	0	0	17.7	0	0	-2
22	非公開	D	9.9	0	0	9.9	0	0	0
23	非公開	D	9.2	0	0	11.2	0	0	-2
24	非公開	E	3.6	0	0	3.6	0	0	0
25	非公開	E	0.6	0	0	0.6	0	0	0
平均値			24.2	5.2	0.6	17.5	1.8	0.0	-0.9

※ 参考として、残り15大学についてはスコアのみ公開する。

## 参考：企業Top10

企業名	順位	ランク	スコア	方針	実行	評価	報告	宣言	懸念
			100	20	10	40	20	10	-10
ANAホールディングス	1	B	65	13	10	32	10	0	0
キリンホールディングス	2	B	59	20	0	34	5	0	0
花王	3	B	58	18	10	20	10	0	0
NTTグループ	4	B	56	18	5	20	15	0	-2
日本郵政	5	B	55	13	5	37	0	0	0
味の素	6	B	55	18	10	22	5	0	0
明治ホールディングス	7	B	52	13	5	34	0	0	0
ソニーグループ	8	B	51	20	5	16	10	0	0
キヤノン	9	C	48	18	0	30	0	0	0
J R東日本	10	C	48	13	10	20	5	0	0
平均値 (150社)			26.9	6.4	1.1	18.9	1.3	0.0	-0.9

# 改定履歴

改訂日	対象ページ	修正内容	影響範囲
2026年4月20日 初版			

# 免責事項

- 本レポートは、株式会社インフォ・クリエイツ（IFC）の観点に基づき、公開情報を元に調査した結果です。ランキングは、観察可能な範囲の情報に基づくものです。
- 本レポートの内容について、当該大学からの正式な確認や承認を受けたものではありません。
- 株式会社インフォ・クリエイツ（以下当社）は、信頼できる情報を利用者の方々へお届けするために鋭意努力を重ねていますが、本資料に不正確な記載や誤植を含む場合がないとはいえません。当社では、本資料の情報の正確性、完全性、合法性、安全性、最新性その他について、いかなる保証もいたしません。
- また、本資料には外部WebサイトへのURLが記載されることがありますが、これはそのWebサイトの内容を保証したり、使用を推奨したりするものではありません。
- 本資料の利用は、すべて利用者ご自身の責任において行っていただくようお願いいたします。
- 当社は、利用者が本資料を利用したこと、あるいは利用不能であったことによって生じるいかなる事故、トラブル、障害、その他の損害についても一切の責任を負いません。

※ なお、本資料の内容を当社の許可なく複製、公開、販売、配布することを固く禁じます。

# 制作・お問い合わせ

## 制作：株式会社インフォ・クリエイツ（IFC）

株式会社インフォ・クリエイツについて

Webサイトをアクセシビリティ標準に適合させ、誰もが利用しやすい「情報バリアフリー」な環境づくりを支援しています。

検査やコンサルティング等、Webアクセシビリティ推進のための各種サービスを提供しています。

## お問い合わせ

本資料に関するお問い合わせは、下記フォームよりお願いいたします。

<https://www2.infocreate.co.jp/inquiry/contactus.php>



〒150-0045  
東京都渋谷区神泉町20番21号  
クロスシー渋谷神泉ビル 3-07

株式会社インフォ・クリエイツ



03-6778-7754



<https://www.infocreate.co.jp/>